

防災博覧会 とは

わが国は、世界でも有数な災害多発国であり、地震災害をはじめ津波、台風、洪水、火山の噴火、雷、竜巻、高温災害、また、新型コロナウイルス感染など、数多くの脅威にさらされています。

そして、エネルギー危機や食糧危機と多くのリスクを抱え、過去の経験則では、対処出来ない大きな課題が山積しています。その状況下で、災害を少しでも減災出来る技は、いかに災害に「備えるか」が重要なテーマとなります。

一人ひとりの防災意識を高め、人との絆を強め、助け合う共助の精神で、地域の安全、安心を守り、社会貢献につなげることが大切であり、ここに業界初の防災博覧会を提唱いたします。

能登半島地震復興支援

の一助として

今年の1月1日に発生した能登半島地震はわが国の中山間地域での被害が甚大で、救援、支援体制が貧弱であることが露呈しました。地震災害で復興・復旧の兆しが出てきたところに、9月の奥能登豪雨による重なる被害が発生し、地域住民は、二重の苦しみを体験しました。被災された能登半島地区の住民の方々に対し、



(2024・1 輪島市内)

復興支援の一助として、本防災博覧会の売り上げの一部を寄付するとともに、輪島市商工会議所、輪島市朝市組合、の協力のもと、地元の商店も共同出展し、能登半島特産物の展示即売会の開催をあわせてご提案いたします。

▼防災博覧会 主な出展概要

→詳細については、contact@bousai-anzen.com へお問合せください。

参考：新経済対策に防災力強化決まる

→地方公共団体の先進的な防災の取組の支援

国土強靱化の取組及び災害対応体制の強化について

新地方創生交付金(地域防災緊急整備型)

→地方公共団体の先進的な防災の取組の支援により、キッチン資機材、パーティション等の資機材の備蓄を推進。

・防災拠点となる「災害対策本部予備施設」、「広域防災拠点」、「道の駅」等の整備・改修・機能強化(内閣府、総務省、国土交通省)より抜粋

・令和6年能登半島地震の教訓を踏まえた、避難生活環境の抜本的な改善のための避難所環境整備緊急事業、プッシュ型支援の迅速化に向けた分散備蓄整備(内閣府)より抜粋

・災害時に活用可能なキッチンカー・トレーラーハウス等を登録する仕組の検討などボランティアを始めとした多様な主体との官民連携による被災者支援の強化・充実(内閣府)より抜粋